

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy  
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21 検索

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて 検索

【Facebook】 https://www.facebook.com/aac21.net 検索

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)9月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第96号

## 10回記念サッカー大会を開催

7月9日、ローロックス小学校(コンボン  
スプー県)の校庭で「コンボンスプー県  
小学校対抗サッカー大会」を開催、  
県内の8校が参加して優勝を競った。  
生徒数が最も少ない「アピワット  
小学校」が初優勝した。  
本会及び「カンボジアの子どもた  
ちに夢と希望を贈る市民の会」(茨  
城県日立市、菊池和雄代表)が共催  
した。

本大会は今回で10回目の記念大  
会だった。  
毎年一度、11月に開催してきたが、  
今年からは日程の都合で7月に開  
催となった。  
7月は雨が少なく、雨量が多い11  
月より校庭のコンディションは上々、  
トーナメント方式で8試合を行った。  
どの試合も息詰まる熱戦で、子ど  
もたちの真剣な眼差しと機敏な動  
きが印象的だった。  
菊池代表は「第1回大会に較べる  
と格段にレベルアップした。プロサッ  
カー選手になるのも夢ではなくなっ  
た」と話している。  
閉会式で、菊池代表が日本から持  
参したサッカーのユニフォームなどの  
賞品を、本会から賞金を優勝チーム  
などに贈呈した。  
来年も7月に、第11回大会を予定  
している。



はだしてボールを追いかける子どもたち



参加チーム全員で記念撮影  
(写真提供=遠藤啓様)

## 小学校対抗サッカー大会10回記念を迎えて

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

8年前、コンボンスプー県に児童養  
護施設「夢ホーム」を開設し、ついで  
に小さなサッカーコートを作った。  
その年の11月、夢ホーム周辺の3  
つの孤児院に呼びかけ、4チームで  
第1回サッカー大会を開催した。  
その後、会場を中学校の校庭に移

アの子どもたちに夢と希望を贈る  
市民の会(茨城県日立市、菊池和雄  
代表)と共催することになり、以後  
閉会式で子どもたちに贈呈する賞  
品はすべて同会が日本から持参して  
くれている。  
この8年間で、子どもたちのサッ

カ技術は数段レベルアップした。  
最初は遠くに蹴るだけの子どもが多  
く、パスする技術はほとんどなかつ  
た。しかし最近ではサッカーらしく、パ  
スが多い試合が増えてきた。これも  
大会開催の大きな成果である。  
聞くと、各小学校では本大会に備

え数ヶ月前から練習に余念がないと  
いう。こうした努力の積み重ねが、技  
術向上に繋がったようだ。  
カンボジアのサッカー界も、この8  
年で大きく進化した。  
今年の2月には、カンボジア人の  
チャン・ワタナカが初のJリーグリ  
ガー

7月7日、「カンボジアふれあ  
いの旅」の日程の中で、「国際ソロプ  
チミスト安城」(愛知県安城市、堀尾  
郁子会長)がカンボジアの小学校  
に寄贈した井戸の贈呈式を行った。  
同じ安城市在住の石川副理事長が  
感謝状を受け取り、テーブルカット  
した。  
同団体は、本会を通じてカンボ  
ジアの支援活動を数年に亘り続け  
ており、春に行われたチャリティ  
コンサート収益金を充当してく  
れた。



現地でいただいた感謝状を堀尾会長に届けた  
(8月7日、安城市内のホテルロビーで)

し、参加チームも近隣の小学校に変  
更、5回〜6回大会頃から現在の会  
場である「ローロックス小学校」に移り、参  
加チームも8校に増えて今に至って  
いる。  
当初は本会が単独で主催してい  
たが、5回大会当たりから「カンボジ

カ技術は数段レベルアップした。  
最初は遠くに蹴るだけの子どもが多  
く、パスする技術はほとんどなかつ  
た。しかし最近ではサッカーらしく、パ  
スが多い試合が増えてきた。これも  
大会開催の大きな成果である。  
聞くと、各小学校では本大会に備

として「藤枝MYFC」(J3)に期限  
付きでレンタル移籍、4月に公式戦  
デビューを果たした。J3ではあつ  
ても立派なJリーグリガーだ。  
カンボジアナショナルチームも、  
ワールドカップ2次予選に進出、20  
15年11月にはカンボジア国立競技



決勝戦で主審を務めた菊池和雄代表

## 今年も参加します! グローバルフェスタ2017

日時: 9月30日(土)・10月1日(日)  
午前10時~午後5時  
会場: お台場センタープロムナード  
(シンボルプロムナード公園内)



活動報告コーナーにて(2016年度)

テントブースを設け、本会活動紹介・パネル展示・  
会報などの資料配布を行います。  
ボランティアでお手伝いをして下さる方を募集して  
おります。(半日でも結構です。)詳細は事務局までお  
問合せください。

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください

### クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば72年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

### 児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在10歳～19歳の男女15人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

#### ■ ふれあいの旅参加者が訪問

7月9日、第36回「カンボジアふれあいの旅」に参加したメンバーが訪問、しばし子どもたちと交流した。

平古場正行さん(横浜市、理事)が、衣料品43着を寄贈してくれた。また、大星スズ子さん(岩手県奥州市、里親会員)が、石鹸・タオルを寄贈してくれた。

#### ■ 子どもとともに苗木も大きくなった

2009年に開園した時に植えたココナツ椰子の木が初めて実をつけた。1メートルほどの苗木だったが、8年かけて大きく成長した。

開園時に入園した子たちも半分以上が卒業し巣立って行った。時の流れを感じる。



国際ソロプチミスト安城様寄贈の井戸で水を飲む子どもたち



広瀬様寄贈の井戸を囲み子どもたちと記念撮影



高橋和子・由起江様寄贈の井戸で手を洗う子どもたち



匿名様寄贈の井戸で手を洗う子どもたち

#### 7月に完成した井戸の内訳

ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 広瀬・美保 様	コキー小学校	375人	トゥボンクモム県
② 国際ソロプチミスト安城 様	ジロートカンドル小学校	323人	トゥボンクモム県
③ 高橋和子・由起江 様	ジャントーン小学校	354人	トゥボンクモム県
④ 匿名(プレート名:ともだち) 様	コファンダット小学校	1,070人	タケオ県

※通算の井戸設置数(2003年～)＝306基(7月現在)

7月は、カンボジアの小学校に4つの井戸が完成、「カンボジアふれあいの旅」に参加した皆さんなどが参加して贈呈式を行った。どの井戸もきれいな水が出て、生徒たちは水を飲んだり顔を洗ったりして、井戸の完成を喜んでいました。

### カンボジアの小学校に4つの井戸が完成

### セナープロモック小学校図書室増設工事を開始

2015年11月、セナープロモック小学校(プレアビア県、生徒数1100人)に3教室の新校舎が宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)の資金協力により完成した。その後生徒も増え、学校からも図書室建設の要望があったため、現在ある校舎に一つの教室を増築する工事を、6月に着工した。宮下さんが資金提供してくれた。工事は順調に進んでおり、11月に完成の予定。



建設工事の様子

### 上山陽子さんと宮川公子さんがカンボジアで音楽・遊戯指導

6月15日～30日、上山陽子さん(奈良県大淀町在住、法人監事・里親会員)がカンボジアを訪問、23日と24日には、夢ホームの子どもたちが通学する「タメイ小学校」で音楽指導、隣接する「タメイ幼稚園」で遊戯指導を行った。上山さんは年間5～6回カンボジアを訪問、同小学校と幼稚園で音楽・遊戯指導を続けている。

また、6月25日～7月4日、宮川公子さん(宮城県石巻市在住、里親会員)がカンボジアを訪問、26日～7月1日には「ローロックス学校」及び「ソムブル小学校」で鍵盤ハーモニカ(ピアノ)による音楽指導を行った。特に、ソムブル小学校での指導は初めて。岡本浩史さんから贈られた鍵盤ハーモニカ



ピアノを使い音楽指導する上山陽子さん

### トロパントム石川小学校訪問

7月12日、石川桂副理事長(愛知県安城市)が「トロパントム石川小学校」を訪問、生徒、住民たちと懇談した。

3月の訪問時、石川副理事長から文集作成の提案をしたが、生徒が書いた原稿が沢山集まった。早速これを日本へ持ち帰り、印刷して文集を完成させ11月に持参することになった。



子どもたちの意見を聞く石川副理事長

### 《夢ホーム》第32回鑄造によるアクセサリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は隔月にカンボジアを訪問、夢ホームや近所の子どもたちを対象に、アクセサリー作りの技術講習会を開いている。第32回講習会を、6月27日～7月1日に実施した。受講生も定着し、それぞれの

テーマに沿った作品を製作している。今回の講習会を、9月26日～30日に予定している。



「夢ホームで見かける動植物」と題して、ペンダントやイヤリングを作っています。ヤモリや花やバナナ等です。皆、自分でデザインして作れる様になってきています。種類がまとまったら、カンボジア国内で販売していく予定です。

### ロマンソー小学校を訪問

7月15日、根岸理事長と遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が「ロマンソー小学校」(コンポンスプー県オラル郡)を訪問、遠藤さんが生徒たちにお菓子を、「神戸ユネスコ協会」(神戸市中央区)からいただいたシャープペンをプレゼントした。

本会は来年、同小学校に新校舎を建設する予定になっていて、古い木造校舎があるうちに一度訪問したいという遠藤さんの希望で訪問した。



古い木造校舎で学ぶ子どもたち

### 子どもたちに寄贈品を届けました

7月6日～21日、根岸理事長がカンボジア滞在中、日本から持参した寄贈品を小学校や村の子どもたちに届け、喜ばれた。配布した寄贈品は次の通り。ぬいぐるみ(提供：加藤知恵子様)、



ぬいぐるみをもらい嬉しそう



### 第36回カンボジアふれあいの旅

第36回目となる「カンボジアふれあいの旅」が7月6日～12日に行われ、一部参加者含む9人が参加した。6日は移動日、7日から活動を開始した。7日、「国際ソロプチミスト安城」様が小学校に寄贈した井戸の贈呈式に参加、併せて生徒らに学用品を配布した。8日、教育里親さんが2つのグループに分かれ支援する里子の家を訪問、里子と交流しプレゼントを届けた。9日、児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。10日は自由行動日。11日、プノンペン市内観光(午後は自由行動)、夕方には空港へ向かい、現地解散した。

参加者が少ないながらも、濃い旅だった。

### クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親又は片親を失い、かつ貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の子どもたちを教育支援している。7月8日、第36回「カンボジアふれあいの旅」に参加した教育里親さんらが2つに分かれ、教育支援する里子の家を訪問した。

また7月19、20日、教育里親さんからお預かりした里子へのプレゼントを、9人の子どもたちに届けた。その他のプレゼントは、現地スタッフが後日届けた。

今年の長期休みは9月1日〜10月31日、8月一杯は授業が行われる予定。  
(根岸記)



里子を訪問した本間誠一さん (写真提供=遠藤啓さん)

### 教育里子へプレゼントをお届けします

お届け後、里子から写真付きのお礼状が届きます  
【プレゼントのお届け方法は2つございます。下記をご参照ください。】

#### ①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

- 自転車(大人用・中古品) …8,000円
- お米(50kg) …5,000円
- Tシャツ・サンダルセット(Tシャツ2枚&サンダル1足) …2,000円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) …1,000円
- 本セット(絵本3~4冊/高学年以上は児童書・伝記等1~2冊) …1,000円
- 文房具セット …1,000円 (ノート・筆記用具等)



新しく追加した文房具セット▶

#### ②日本から持参

品物や手紙は練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

### 縫製工場で頑張っています「ゲット・スレイナット」

私はゲット・スレイナットです。23歳になります。日本の里親さんより、小学4年生の時から教育支援を受け、今も生活が苦しいため生活支援してもらっています。

小さい時に両親が亡くなったため、祖母に育てられました。兄弟は弟が1人います。学校は中学2年で退学し、それからずっと縫製工場に働いています。

去年7月、同じ職場の男性と結婚し、祖母が残してくれた家で2人で暮らしています。10月に子どもができる予定です。

里親さんが教育支援してくれたおかげで、今の自分があります。とても感謝しています。



### 岩手県釜石市で写真展&絵画交流展

6月15日〜21日、岩手県釜石市内の「イオンタウン釜石・2階イベントスペース」に於いて、写真展「カンボジアの子どもたち」&絵画交流展を開催した。及川英博さん(本会理事で里親会員・岩手県奥州市在住)が、会場交渉から設営、約1週間にわたる写真展の説明、撤収まで、す



絵画交流の様子を見る来場者

### タメイ小学校と平田小学校の絵画交流

7月19日根岸理事長が、夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」(コンボンズプー県)を訪問、及川理事(岩手県奥州市)を通じて「平田小学校」(岩手県釜石市)の生徒から託された絵画30点を「タメイ小学校」の生徒に届けた。

「タメイ小学校」からも絵画を預かり、及川理事が「平田小学校」に届けた。



活動報告する根岸理事長

### 鈴木小学校植樹プロジェクト第2弾

鈴木千雄さん(故人)が寄贈した小学校の校庭に苗木を植えようと、親しかった遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が声掛けし、集まった資金をもとに2回目の植樹作業を7月13日に行った。遠藤さんと根岸理事長が参加した。

今回は、できるだけ早く成長するようにと、大きめの苗木を10本購入し、植えてきた。多分2〜3年先には、それなりの大きさの木に成長していることだろう。次回の植樹作業は、11月に予定している。また、苗木購入のカンパも継続



日本の友達からの絵画を受け取る「タメイ小学校」の生徒たち



生徒も手伝って植樹する (写真提供=遠藤啓様)

中。(一口千円) 問い合わせ先(遠藤さんの携帯) 090-4150-8850

### ウオッチカンボジア

#### トクトクメーター登場

カンボジア(特に都市部)の移動手段は相変わらずバイクが中心だが、安全性と経済的であることから、最近はトクトクメーター(写真)が流行し始めた。インド製らしい。メーターのないトクトクもあるが、運賃がはつきりしないため、支払いのトラブルが結構あるようだ。そこに登場したのが、メーター付きトクトク。LPG利用のため燃費もよく、これから主流になる勢い。



#### 国王お見送りの大行列

国道を車で走行していると、中学生・高校生らがカンボジア国旗を手に沿道に並んでいた。聞くと、シハモニ国王が出席していたセレモニーが終わり、これからプノンペンに宮に戻るようだ。その長さ約2キロメートル。子どもの頃、天皇陛下がお見えになるといふことで、日の丸を持って道路に並んだ記憶がよみがえった。



#### イスラム教伝道師に会った

特にイスラム教徒が多いコンボンチャム地方を廻ると、モスクがありそこに中東の国から来たイスラム人に会った。伝道師として本国から派遣されているようだ。恐る恐る記念撮影をお願いしたところ、意外に快く応じてくれ、しばし英語で話し合った。カンボジアのイスラム教徒は、約20万人といわれている。



#### 都市化するプノンペン

飛行機の窓から、プノンペン市内を撮った。家が密集し、高層建築が多くなった。40年前、ポルポト政権によって廃墟と化した悲劇の街プノンペン、いまその面影はない。いつまでも平和であってほしいと願う。



#### 胡椒(いしよ)の木

カンボジアは胡椒の産地として有名。地方を巡っていると、胡椒畑があった。この木から、どのようにして胡椒を取るのか不明だが、変わった形をしている木だということが分かった。



#### あなたはどっす思いつ?

日本人が寄贈した、シエムリアップにある小学校の校舎、古くなったので、韓国の学生グループがペンキを塗ったが、そこに自国の国旗を大きく描いた。これではまるで、韓国人が校舎を寄贈したと、見る人は誤解するだろう。寄贈した日本人がこれを見たらどう思う?





# 第1回カンボジア折々の記 - 共感の中で -

宮川 公子

6月25日15時10分。プノンペン国際空港に降り立つ。近代化が進むターミナルを足早に通り抜け、正面玄関へと急ぐ。

現地職員と上山さんに迎えられ、再会を喜び合いながら夢ホームへ。私を待ち受けていたのはアットホーム的にリフトームされたゲストハウス。

四方を囲む垣根。箒き目が経つ楚々とした庭。垣根を彩る草花。小さな門口そして水口(水栓)と。園長さんと子ども達の力作である。室内やシャワー室は、何時ものように拭き掃除が行き届き、トイレには上履きが用意されていた。

高校生の女の子達の、役割りでありゲストへの気配りである。その思いの中で、しばし長旅の疲れを癒す。「オバアチャンゴハン」と子ども外はもう暮色に包まれていた。

## ■6月26日学校訪問初日

「ローロックス小学校」午前9時教室に入るひとわり大きくなったかなと思われ子ども達。鍵盤ハーモニカを片手に三々五々集まって来る。半ば子ども達との会話が弾む。カンボジア語と日本語の掛け合いが不思議と通じ合う。

談笑の中、既習曲のまとめへと移る。鍵盤奏法(初歩部門)修了に向けての演奏である。指揮に合せて三曲メドレーで演奏する。

澄んだ音色正確な指使い指揮への集中力。6ヶ月間のブランクなどどこにも感じさせない。その直向きさに、思わず拍手を贈る。それに連鎖してか、子ども達も次々に拍手拍手。喜びの拍手である。自分への拍手である。達成感・躍動感そして感動である。

子ども達の成績表には大きな合格シールが三枚ずつ並んだ。修了証である。「頑張ったで賞」のプレゼント。一人ひとりに手渡す。向こう一年間の「学習テキスト」である。カラー刷りの一ページ一ページに歓声をあげる子ども達。思いはもう、次なるステージへと飛んでいた。

## ■6月26日学校訪問初日

初めての訪問校である。鍵盤ハーモニカ、学習テキスト(一年分)二十名分を持ち込んでの活動開始である。まずは、自己紹介。「大きい声の人にはハート印シール三枚」条件をつける。

子ども達は「よっしゃ」のガッツポーズ。一人が終わるごとに爆笑。拍手・・・爆笑と。素の自分を丸出しにしてアピールする。微笑ましい光景である。学習準備に入る。

\*鍵盤ハーモニカ(学校のもの)  
①約束すること・大切に扱う(自分勝手に持ち出さない)

②テキストの内容確認(種類別・それぞれ部数の確認)

③テキスト全部に名前を記入する。

④紙鍵盤に色別ナンバーを貼る(な



音楽指導する宮川公子さん(左)

⑤鍵盤ハーモニカに色別ナンバーを貼る。(紙鍵盤と同じに)すべてが始めてのもの。鍵盤ハーモニカもさることながらテキストはすべてカラー刷り、その一枚一枚目を輝かせる。

最後に鍵盤ハーモニカ使用手順を確認し、「音だけ音だしを試みる」「ヤッター」音が出たということだけで飛び上がって喜ぶ子ども達。その余韻を、教室に校庭にふり撒きながら、「明日」を追いかけていた。未知への期待が募る。(続く)

(里親会員・宮城県石巻市)

## カンボジア小学校での歯磨き指導を通して

神谷浩司さんが刈谷市で講演

7月14日、刈谷市市民ボランティア活動センター(愛知県刈谷市)が主催する第75回車座集會にて、「途上国支援から考えるボランティア」カンボジア小学校での歯磨き指導を通してと題して、神谷浩司さんが講演した。

神谷さんは、歯科医院院長を勤めながら、NPO法人「リカバリーサポートあいち」の理事として、6月6日、12日にカンボジアを訪問、歯磨き指導を中心に様々な支援活動を実施した。

実体験を通しての、神谷さんの講演を聞いた皆さんは、ボランティア活動への理解を一層深めることができた、感想を述べていた。



スクリーンを使い現地活動を説明する神谷さん

## 関西地区会員懇親会のご案内

主に関西地区にお住いの会員の相互交流を目的とし、会員懇親会を左記の要領で開催いたします。併せて本会の活動報告をいたします。(理事長出席)皆様、ふるってご参加ください。

【日時】2017年10月28日(土) 正午~14時ころまで

【会場】大阪 梅田本町 あたりの飲食店を予定

【会費】5000円

【締切日】9月29日までに電話・ファクス・メールで本会事務局へ

TEL: 03-3991-2854 FAX: 03-3557-1213

【その他】参加希望者には、会場案内(交通アクセス)を郵送いたします。会費は、事前に本会事務局へお送りください。会員以外の参加も可能です。お誘いの上、お越しください。

## 活動に参加しませんか

クメール教育里親会員

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割も可)です。

個人・団体会員として

個人会員(年額5千円) 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込郵便振替、現金書留で。

【口座名】21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】019支店 当座0160916

【りそな銀行】練馬支店 普通4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

## 第2回カンボジアセミナーを開催

カンボジアについて学び、理解を深めて支援と交流を推進しようとして7月29日、「JICA地球ひろば」(東京都新宿区)にて「カンボジアセミナー」を開催、約20人が集った。昨年12月に続いて第2回目の開催だった。

第1部は本会の活動報告、スクリーンで現地での活動ぶりを紹介した。また、榎戸徹彦さん(横浜市、里親会員)が現地活動の一環として児童養護施設「夢ホーム」で実施している「アクセサリ作り技術講習会」について説明した。

第2部はカンボジア語講座、昨年のセミナーに続いてノップ・ヴィサルさん(筑波大学院留学生)が分かりやすく教えてくれた。第3部はカンボジア人留学生との懇談会、2人のカンボジア人留学生を招き、意見交換とカンボジアダンスの講習会を開いた。とても和やかなうちにセミナーを終了した。

第3回目のセミナーを来年6月頃に予定している。



カンボジア語講座のひとつ



輪になって踊る



カンボジア人留学生の皆さん

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ  
本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願致します。普通郵便で事務局へお送りください。

## 事務局便り

■第36回「カンボジアふれあいの旅」(7月6日~12日)も無事終了し、続いて行われた第2回「カンボジアセミナー」(29日)も終わりました。次の大きなイベントは、「グローバルフェスタ2017」になります。皆様会場へお出かけください。

■カンボジアでは、子どもたちが通う小・中・高校は、9月~10月が「長いお休み」になります。11月より始まる新学期に備え、鋭気を養ってほしいものです。

## 9月~10月の予定

- 会報「アンコールワット」9月1日付第96号発行
- 根岸理事長、カンボジア定期訪問(9月6日~17日)
- グローバルフェスタ2017 (9月30日~10月1日、東京都内)
- 関西地区会員懇親会(10月28日、大阪の飲食店を予定)

家庭が貧しく学校へいけないカンボジアの子どもたちをサポートしてください

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々が貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校にすら行けない子どもたちがたくさんおります。

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる教育里親さんを募集しております。

思えば72年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助してくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

2017年8月現在、コンポンスプー県内などの29の小学校、及び児童養護施設を通じて約400人の子どもたちを教育支援しています。



【小学校で学ぶカンボジアの男子】

【年会費】 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入（毎月、年3回、年2回）のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームの運営、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。

【里子との交流】 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。

※現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も実施しております。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

※里親の皆さんには隔月発行の会報「アンコールワット」をお送いたします。

お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』（里親係）へ  
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 TEL：03-3991-2854 FAX：03-3557-1213  
E-mail：info@aac21.net HP：http://www.aac21.net

----- きりとり -----

### クメール教育里親会員申込書

平成 年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	※個人でお申込みの方はお住いのご住所、団体でお申込みの方は団体の所在地をご記入ください 〒 電話		
サポートする子どもの数	人	希望する性別 1. 男の子 2. 女の子 3. どちらでもよい	
年会費	1. 一括納入 2. 分割納入	備考	

申し込み書の部分を切り取ってご郵送くださるか、FAXしてください。

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 FAX：03-3557-1213

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

# クメール教育里親会員募集



**ポック・スレイラックちゃん**  
(女の子・2006年生まれ)

コンボンスプー県トロパンクエク小学校5年生  
父親のみ(母親死亡)/3人姉妹の3番目  
学校まで徒歩15分/趣味は読書



**ユエン・リダーちゃん**  
(女の子・2008年生まれ)

トゥボンクモム県プレチークむつこ小学校2年生  
母親のみ(父親離婚)/3人姉弟の1番目  
学校まで徒歩20分/趣味は読書



**ロイン・チャンリムちゃん**  
(女の子・2010年生まれ)

トゥボンクモム県プレチークむつこ小学校1年生  
両親あり/3人兄弟の2番目  
学校まで徒歩15分/趣味は絵を描くこと



**サイ・セイハーくん**  
(男の子・2004年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校6年生  
母親のみ(父親死亡)/4人姉弟の4番目  
学校まで徒歩7分/趣味はサッカー



**トーン・ソピアラーちゃん**  
(女の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校4年生  
母親のみ(父親死亡)/2人姉妹の1番目  
学校まで徒歩7分/趣味は花を育てること



**ルン・ピアラーくん**  
(男の子・2009年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校2年生  
母親のみ(父親離婚)/ひとりっこ  
学校まで徒歩6分/趣味はサッカー



**リアン・ナンくん**  
(男の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校2年生  
母親のみ(父親死亡)/4人姉弟の3番目  
学校まで徒歩6分/趣味はサッカー



**シアン・ヨーンくん**  
(男の子・2009年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校2年生  
母親のみ(父親死亡)/4人兄妹の3番目  
学校まで徒歩7分/趣味はサッカー



**ポック・ナクリーちゃん**  
(女の子・2010年生まれ)

コンボンスプー県アピワット小学校1年生  
母親のみ(父親離婚)/2人兄妹の2番目  
学校まで徒歩7分/好きな遊びはゴム跳び



**トーチ・スレイニートちゃん**  
(女の子・2010年生まれ)

コンボンスプー県ソムブル小学校1年生  
母親のみ(父親離婚)/3人姉弟の2番目  
学校まで徒歩15分/好きな遊びはゴム跳び



**ポン・ピアックダイくん**  
(男の子・2009年生まれ)

コンボンスプー県ソムブル小学校2年生  
父親のみ(母親離婚)/ひとりっこ  
学校まで徒歩15分/好きな遊びはかくれんぼ



**ソン・ソヴァンジャンヴィサールくん**  
(男の子・2009年生まれ)

コンボンスプー県ソムブル小学校2年生  
母親のみ(父親離婚)/4人兄弟の3番目  
学校まで徒歩20分/好きな遊びはかくれんぼ

お問い合わせ

特定非営利活動法人(NPO 法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203

TEL : 03-3991-2854 FAX : 03-3557-1213

E-mail : info@aac21.net HP : http://www.aac21.net